

- 進行・再発癌       術後補助化学療法       術前補助化学療法  
 大量化学療法       局所療法       その他(No.216完遂後の地固め)

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	カルボプラチン (カルボプラチン・CBDCA)	AUC=5	div	60分	d1
2	パクリタキセル (パクリタキセル・PTX)	200mg/m <sup>2</sup>	div	60分	d1
3					
1コース期間 (次コースまでの標準期間)		3週間			
総コース数		2コース			
コース間での休薬の規定		・WBC<2000、好中球≤1000、血小板<5万、発熱、PS3-4			
減量規定・中止基準		* 減量 好中球減少症: Grade4、発熱性好中球減少症: Grade3以上 * 中止 PS低下、PD、忍容できない副作用が発現した場合			
投与量の増量規定		なし			
投与期間の短縮規定		なし			
コースによる変化		なし			
1日の中での抗癌剤投与順		PTX→CBDCA			
プレメディケーション・ポストメディケーション		プレメディケーション パクリタキセル投与30分前にデキサメタゾン16.5mg、ファモチジン20mg、レスタミン10mg 5錠の投与を完了するこ			

※CTCAE v4.0

患者条件(初回条件)

- ・No.216: CP+TRT施行後
- ・PS 0-2
- ・主要臓器機能に大きな異常がない
- ・非妊婦、感染症のない患者
- ・75歳未満

除外規定

- ・重篤な骨髄抑制のある患者や、感染症を合併している患者
- ・本剤又はポリソルベート80含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者
- ・妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
- ・放射線照射野が片肺1/2以下

実施上の注意点

パクリタキセル

- ・本剤投与時には、0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること。また、点滴用セット等で本剤の溶解液が接触する部分に、可塑剤としてDEHPを含有しているものの使用を避けること。
- ・本剤投与による重篤な過敏症状の発現を防止するため、本剤投与前に必ず前投薬を行うこと。前投薬としては本剤投与約12~14時間前及び約6~7時間前の2回、もしくは本剤投与約30分前の1回デキサメタゾンとして16.5mgを静脈内投与、本剤投与約30分前に塩酸ジフェンヒドラミンとして50mgを経口投与、本剤投与約30分前にファモチジンとして20mgを静脈内投与すること。
- ・問題が無ければ、CP+TRT施行後、No.217: CP併用療法を2回施行予定